一般社団法人 京都知恵産業創造の森　令和3年度 事業報告書

1 概 要

当法人の活動3年目となる令和3年度は、これまで京都の産業振興に寄与してきた「京都産業育成コンソーシアム」、「京都産学公連携機構」、「一般社団法人京都産業エコ・エネルギー推進機構」の3団体の事業を継承しながら、「京都」の町に、「知恵産業」すなわち「イノベーション」が次々と「創造」される「森」－「産業界のエコシステム」形成のため、様々な事業を実施してきた。

とりわけ、昨今、社会情勢や経済環境は目まぐるしいスピードで変化しており、本法人についても、①スタートアップ創出における大学への期待の高まり、②超スマート社会（Society5.0）構築のための官民連携の推進、③若者に対する多様な職業観の醸成（アントレプレナー教育推進）、④産業集積概念の「クラスター」から「エコシステム」への変化などを踏まえた事業展開が求められている。

こうした環境の変化を踏まえ、イノベーションに関する、①イノベーションを生み出す人材の育成、②イノベーションをビジネスの軸とするスタートアップへの支援、③イノベーションを起こそうとする中小企業への支援、④大学の持つシーズのイノベーションへの結びつけといった4つの切り口に更なる横串を通し、加えて、様々な人々が出会い「オープンイノベーション」が生まれる場として、KOIN の活用促進を図ることにより、知恵森トータルでより一層の事業間連携を図ってきた。

また、京都経済センターの入居団体をはじめ、京都企業の育成を担う様々な団体との交流と協働を一層強化しながら、京都経済センターが核となり、知恵の交流と融合により新たな価値の創造を図るとともに、京都経済の発展と活性化を図ってきた。

一方、新型コロナウイルスの感染拡大により、連携と協働を基調にした多くの事業について、一定の制限があり、当初の計画どおりに進めることが困難な状況が続いたが、創意と工夫により、感染防止対策と事業運営の両立に取り組むことができた。

具体的には、産業人材育成推進については、中小企業大学校、日本政策金融公庫等との連携による高度人材育成や学生ビジネス支援企画の実施やデザインに関する分野別コンテストの企画・運営等を実施した。

スマート社会の推進については、スマート社会実装化促進事業等を通じた、新たなサービスや技術開発等のイノベーション構築に向けた取組への支援、スマート産業の効果的な普及のための AI、IoT の導入支援等に関するセミナー開催等を開催した。

産学公連携推進については、人文社会学系研究者等の知見も活用した産学公連携実践事例調査、本法人が産学公連携の中核となる産学連携共同研究開発事業等を実施した。

スタートアップの推進については、シード期前後のスタートアップへのアドバイスやコミュニティ形成によるスタートアップ創出環境の整備、スタートアップの成長ステージに即した支援やベンチャーキャピタルとの連携強化による資金調達支援等を進めてきた。

2 会議等

⑴ 社員総会・理事会

令和3年度は、社員総会を 4 回（決議の省略の方法によるものを含む。）、理事会を5回（同）開催し、令和2年度の事業報告や令和4年度の事業計画及び収支予算等を審議するとともに、令和3年度の業務執行理事の業務報告等についても確認した。

日 程	会 議	議 題
決議があったとみなされた日 令和3年 4 月 7 日	（決議の省略の方法による） 理事会	第 1 号議案 臨時社員総会の決議の省略の決定の件
決議があったとみなされた日 令和3年 4 月 12 日	（決議の省略の方法による） 社員総会	第 1 号議案 理事2名選任の件
令和3年6月14日	第8回理事会	第 1 号議案 令和2年度事業報告について 第 2 号議案 令和2年度決算について 第3号議案 定時社員総会の審議事項の追加について 第4号議案 臨時社員総会の招集について 報告事項 理事長及び専務理事（業務執行理事）に係る業務報告について
令和 3 年6月14日	定時社員総会	報告事項 令和2年度事業報告について 第 1 号議案 令和2年度決算関係書類の承認について 第 2 号議案 理事の選任について
令和3年6月14日	第9回理事会	第 1 号議案 副理事長の選定について
決議があったとみなされた日 令和3年7月16 日	（決議の省略の方法による）理事会	第 1 号議案 臨時社員総会の決議の省略の決定の件
令和3年7月26日	（決議の省略の方法による） 社員総会	第 1 号議案 監事1名選任について
令和4年3月4日	臨時社員総会	第 1 号議案 令和4年度の会費の決定について
令和4年 3 月4日	第10回理事会	第 1 号議案 令和 3 年度補正予算について 第2号議案 令和4年度事業計画及び収支予算について 第3号議案 定時社員総会の招集について 報告事項 理事長及び専務理事（業務執行理事）に係る業務報告について

⑵ 事業推進協議会

本法人の取組に関する意見交換、オール京都のビジョン共有及び連携協議の場として、経済団体や産業支援機関等で構成する事業推進協議会を2回開催。

日 程	出席団体	議 題
令和3年12月1日	京都府、京都市、京都商工会議所、京都工業会、京都信用保証協会、京都経営者協会、京都経済同友会、京都府中小企業団体中央会、京都府商工会連合会、京都産業21、京都高度技術研究所、京都リサーチパーク、関西文化学術研究都市推進機構	協議事項 京都知恵産業創造の森の事業運営について
令和4年2月17日	京都府、京都市、京都商工会議所、京都工業会、京都信用保証協会	協議事項 1 令和４年度予算(収入)(案)について 2 令和４年度事業計画の概要(案)について 3 令和４年度の事業推進体制(案)について

⑶ 広報誌発刊

本法人の取組や実績に関する情報を広く発信することにより、企業、大学、産業支援機関、行政、起業家及び学生等との良好な関係を維持・強化するとともに、様々な交流と協働を促進することを目的に、広報誌(季刊)を創刊した。

発行日	掲載記事	誌面(参考)
令和3年11 月 30 日	・理事長ご挨拶 ・U35起業家育成プログラム ・産学公連携プロジェクト ・スマート社会実装化促進事業補助金採択企業紹介 ・Kyoto Startup Challenge Seminar ・KOIN の受付紹介	
令和4年2月 24 日	・OPEN INNOVATION FORUM 2022 ・スマート社会実装化促進事業補助金採択企業紹介 ・産学公連携プロジェクト ・KOIN ACCELERATOR PROGRAM ・KOIN マルシェの開催案内 ・KOIN の受付紹介	

3 産業人材の育成支援に関する事業

⑴ 産業人材育成に係る企画、運営

産業人材の育成に向けて、多様な組織・団体等と連携し、様々なテーマでイベントやセミナーを実施した。

具体的には、日本政策金融公庫と女性起業家育成を目指した「女性起業家育成講座」、学生起業家育成を目指した「学生起業家入門セミナー」を実施した。※⑵に記載

また、京都中央信用金庫と次世代の京都ブランドを担う企業育成を目指した「京のごちそうブランド創生プロジェクト」、京風の商品パッケージデザインを学生が考案する「中信学生デザインコンテスト」を実施した。※⑵に記載

さらに、京都商工会議所と次世代の起業家育成に向けた「起業家ひざづめ交流会」を実施した。※⑶に記載

⑵ 多様な主体との連携による効果的な人材育成の推進

■高校生限定 アイデアカフェ in KOIN（日本政策金融公庫京都支店共催）

内 容	ブレーンストーミング等を通じて身近な社会課題からビジネスアイデアの発想方法などを学ぶ講座を、高校生に向けて開催した。		
講 師	石井 力重 氏（アイデアプラント代表／早稲田大学非常勤講師等）		
共 催	日本政策金融公庫京都支店		
開催日	6月19日（土）14:00～16:00		
参加者	4名	開催方法	オンライン（Zoom）

■女性起業家育成講座（日本政策金融公庫京都支店共催）

テーマ	「京都女性起業家賞受賞者が語る起業ストーリー」		
内 容	京都女性起業家賞受賞者たちの体験談を通じて、起業を身近に感じてもらうとともに、起業に必要な考え方や姿勢などを学んでもらう。		
講 師	【パネリスト】 手塚 隆子 氏（リトルピカソ 代表） 内丸 もと子 氏（株式会社カラーループ 代表取締役） 矢野 玲美 氏（株式会社ハバリーズ 代表取締役） 【ファシリテーター】 諸戸 智霞 氏（株式会社パソナ）		
共 催	日本政策金融公庫京都支店／輝く女性応援京都会議		
開催日	7月9日（金）14:00～15:30		
参加者	32名	開催方法	オンライン（Zoom）

テーマ	「あなたのファンを作る！『売れる』STORY 作り」		
内 容	セルフブランディングを活かして起業を成功させた体験談を通じ、起業後の販路開拓や起業に必要な考え方や姿勢などを学んでもらう。		
講 師	永里 真由美 氏（株式会社マーレ 代表取締役） 岡田 華蓮 氏（OoO 株式会社 代表取締役） 		
共 催	日本政策金融公庫京都支店		
実施日	9月16日（木）14：00～15：30		
参加者	32名	開催方法	オンライン（Zoom）

■学生起業家入門セミナー（日本政策金融公庫京都支店共催）

内 容	起業に興味のある学生が起業にあたって一歩を踏み出すため、起業に関する基礎知識を、先輩起業家の体験談を通じて学ぶ。		
テーマ	第1部 パネルディスカッション「先輩起業家から学ぶ起業ノウハウ」 第2部 交流会 先輩起業家に聞いてみよう！		
登壇者	上柿 善也 氏（同志社大学／現役学生起業家） 堀 勝通 氏（lilo 株式会社 代表取締役／関西大学在学時に起業） 岡田 侑貴 氏（株式会社データグリッド 代表取締役／京都大学在学中に起業） 		
共 催	日本政策金融公庫京都支店		
開催日	12月1日（水）18：00～20：00		
参加者	32名	開催方法	オンライン（Zoom）

■高校生ビジネスプラン・グランプリ 京滋地区発表会（日本政策金融公庫京都支店共催）

内 容	日本政策金融公庫の「第9回高校生ビジネスプラン・グランプリ」において、京都・滋賀の高校からエントリーし入賞した6校に発表の機会を設け、相互の交流を図った。	
出場校／ビジネスプラン	学校名	プラン名
	滋賀県立虎姫等学校	「なくならず転がらない！完璧な消しゴムカバーで MLGs を推進！」

<table>
<tr><td></td><td>
<table>
<tr><td>洛陽総合高等学校</td><td>「Sugi Wash～北山杉の香～」</td></tr>
<tr><td>立命館宇治高等学校</td><td>「Radiance Stick」</td></tr>
<tr><td>京都先端科学大学
付属高等学校</td><td>「quality inquiry education」</td></tr>
<tr><td>立命館守山高等学校</td><td>「グローバドール」</td></tr>
<tr><td>京都府立桂高等学校</td><td>「梅ぇトマト」の栽培とブランド化プロジェクト」</td></tr>
</table>
※京都府立桂高校は東京で行われた全国トップ 10 が出場する発表会に出場
</td></tr>
<tr><td>プログラム</td><td>1. 表彰式
2・基調講演
講師：牧野 将成 氏（株式会社 Monozukuri Ventures 代表取締役）
3. ビジネスプラン発表

 </td></tr>
<tr><td>共 催</td><td>日本政策金融公庫京都支店</td></tr>
<tr><td>開催日</td><td>12月19日（日）10：00～12：30</td></tr>
</table>

■「京のごちそうブランド」創生プロジェクト（京都中央信用金庫共催）

内 容	コロナ禍によるライフスタイルの変化等が起きる中で、京都の中に埋もれてしまっている食に関する商品を掘り起こし、新たな地域の魅力を発信するプロジェクト。マーケティング・ブランディングの専門家が伴走支援しながら、商品の魅力をブラッシュアップし、大規模展示会への出展を通じて販路の拡大を目指す。
参加企業	8社 株式会社西利／京かおり株式会社／有限会社水島食品（錦市場 櫂 KAI）／有限会社久在屋／株式会社京乃晴れ姿／有限会社松正（京料理 松正）／株式会社 Food で plus
アドバイザー	細谷 佳史 氏（元モロゾフ 商品企画・店舗企画・広告販促責任者）
プログラム	＜事前セッション＞ ①5月19日 ②5月26日 ③6月9日 ④6月23日 ⑤7月7日 ⑥7月21日 ⑦8月4日 ⑧8月18日

	＜展示会＞ フードストアソリューションズフェア2021（インテックス大阪） 12月2～3日 ＜報告会＞ 12月10日
共　催	京都中央信用金庫

■中信学生デザインコンテスト2021／表彰式（京都中央信用金庫共催）

内　容	学生を対象とした、京都の「食」をテーマにした京風パッケージデザインのコンテスト。SDGs が根付く京都の地で、コロナ禍に立ち向かう飲食・食品関連業者など、京都の「食」を応援する。新たな京風パッケージの提案を募集するもの。今回の募集テーマは『持続可能な社会へ向けて京都の「食」を応援！わたしが考える新・食の京風パッケージ』。
提　供	京都知恵産業創造の森賞（副賞5万円）
受賞者	高山　春香　氏（京都市立芸術大学）「京町家のおくどさん」
表彰式	10月9日（土）13：30～14：30
開催場所	KOIN・京都経済センター「3－F」
共　催	京都中央信用金庫

■“知恵”を生かした社会的事業の相談会（京都市ソーシャルイノベーション研究所（SILK）共催）

内　容	社会的課題をビジネスの手法で解決する「ソーシャルビジネス」の拡大を支援し、中小企業（地域企業）や起業家、学生など幅広い人材とスタートアップ企業を育成する。
開催日	9月14日（火）14：00～19：00
開催場所	KOIN
相談対応	3社 株式会社ナールスコーポレーション／有限会社ワックジャパン／株式会社堤淺吉漆店
共　催	（公財）京都高度技術研究所　京都市ソーシャルイノベーション研究所（SILK）
協　力	京都商工会議所

■京都アトツギベンチャースクール（京都信用保証協会共催）

内　容	京都府下の後継者が家業の持つ経営資源を活用し、新たな発想や技術を掛け合わせ新事業創出を行う為のノウハウや知識を取得する場とすると共に、KOIN を拠点にアトツギコミュニティの構築を図ることを目的に実施。
開催日	3月17日（木）10：00～18：00 3月18日（金）　9：30～18：00（2日間連続で実施）
開催場所	KOIN・京都経済センター「3－F」
参加企業	13社 ミヤコ宝飾株式会社／京菓苑株式会社／株式会社協栄便／株式会社京都模型／晦庵　河道屋／株式会社　MAJIKAO／株式会社茨木屋／若山不動産／株式会社大入／株式会社キョートフードサービス／株式会社アガサ／小嶋織物株式会社／株式会社アイアンドシー
共　催	京都信用保証協会

■未来に羽ばたく若手人材表彰

内容	次代の京都産業を担う若年層の産業人材育成の推進を図るため、ビジネス（商工業、伝統産業、IT 産業、農業など）に関する取り組みや専門的な学業を推進する学校や団体、または個人を対象に優れた成果を収めたものを表彰する制度。 本年度は、農業分野において優れた成果を収められた、京都府立桂高等学校の「循環型農業を目指す研究班」及び「植物の高品質化に関する研究室」の2チームを表彰するとともに、両チームによる研究成果の発表を行った。

開催日	3月12日(土) 10:00～11:00
開催場所	KOIN
受賞者	京都府立桂高校　循環型農業を目指す研究班(8名) 植物の高品質化に関する研究室(7名)

⑶「京商知恵基金」を活用した人材育成の推進

■起業家ひざづめ交流会　わたしたちの起業～会社の未来が拓けた瞬間～

内　容	上場を果たした起業家等ゲスト講師に招き、スタートアップ支援経験の豊富な先輩起業家がファシリテーターとなって講演・交流する機会を設けることで、起業を志す学生、若手起業家等の気づきやネットワーク構築の場を提供し、令和の時代における京都の新たなエコシステム構築の一助とする。
テーマ／ 講　師	第1回:「リーン・スタートアップで困難を乗り越えろ」 株式会社 FLOSFIA　代表取締役社長　人羅　俊実　氏 第2回:「転機は『オープンソース』と『展示会』」 株式会社 RUTILEA　代表取締役　矢野　貴文　氏 第3回:「Chatwork 創業者が語る、起業から上場までのリアル」 SEVEN　代表／Chatwork 創業者　山本　敏行　氏 第4回:「ハードウェアスタートアップの資金調達とクラウドファンディング」 アトモフ株式会社　代表取締役　姜　京日　氏
共　催	京都商工会議所
開催日	第1回:11月　9日(火)18:00～20:00 第2回:11月18日(木)　〃 第3回:10月30日(火)　〃 第4回:　1月20日(木)　〃
開催場所	KOIN
参加者	第1回:23名　第2回:15名　第3回:20名　第4回:15名

4 交流と協働による新たな価値創造の推進に関する事業

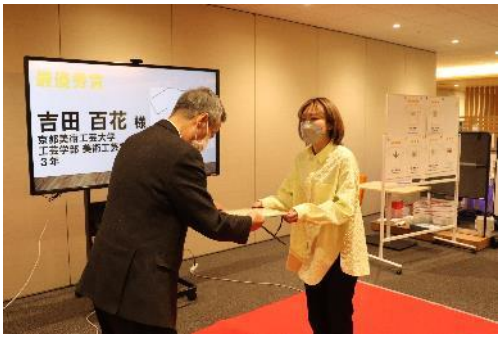
⑴ オープンイノベーションカフェ「KOIN」の運営

① 多様な人々によるオープンイノベーションカフェ「KOIN」の活用促進

■学生連携企画「KOIN BAR」（カタルシス連携）

内 容	交流と出会いの場である KOIN において学生と社会人の接点を生み、学生が今後のキャリアや働き方、起業など多様な可能性に触れる機会を創出することで、学生の力を最大限に発揮し、京都の未来を創る産業人材として羽ばたいていくためのきっかけとなるイベントを、KOIN 受付業務を委託している株式会社カタルシスに関係している学生の企画・運営で実施した。
テーマ	第1回：大学生活から就職へ ～1・2回生からキャリアについて考える～ 第2回：学生×商店街 －行きたいお店・来てほしいお店― 第3回：学校では教えてくれないお金のはなし ～学生時代から知っておきたいお金の貯め方増やし方～ 第4回：就職リンピック2021 ～理系⇔文系就職／起業したい！～ 第5回：”堀川の奇跡”から令和の教育を考える ―探究学習の今と未来― 第6回：インフルエンサーに聞く SNS 運用のいろは 第7回： 明日から使える！本格プレゼンの秘訣、教えます 第8回：学生クリエイターのためのゼロから分かる Notion―SEAMLESS PARTY with N 第9回：FULL CAST ノーコードでアイデアを形にするコンテスト
共 催	株式会社カタルシス
実施日	第1回：7月 3日 第2回： 7月8日 第3回：9月 4日 第4回：9月22日 第5回：12月9日 第6回：1月17日 第7回：2月17日 第8回：①3月12日／②3月27日 第9回：3月26日
参加者	第1回：21名 第2回：51名 第3回：18名 第4回：14名 第5回： 7名 第6回：17名 第7回：17名 第8回：①8名／②7名 第9回：16名

■学生限定 KOIN Tシャツデザインコンテスト

内 容	未来の京都経済を担う産業人材育成を実現する場として KOIN を広く PR するため、デザインを通して学生・若者の感性を発揮してもらい、芸術・デザイン等に関心のある学生から広く注目を集めるきっかけを作る。		
デザインテーマ	KOINに集う学生・若者のパワーで京都を活性化！		
募集期間	10月中旬～11月10日	KOIN 内 展示・投票期間	11月15日～11月30日
表 彰	最優秀賞（副賞 20 万円） ：吉田 桃花 氏（京都美術工芸大学） 理事長特別賞（副賞 10 万円）：山本 周雅 氏（京都大学） 優秀賞（副賞 3万円） ：チェ ジウォン 氏（京都精華大学） 矢田 恵二郎 氏（京都工芸繊維大学） 呂 美紅 氏（京都精華大学） 特別奨励賞（副賞 図書カード1万円分）：谷本 幾葉 氏（銅駝美術工芸高等学校） ※応募総数：21作品		
表彰式	3月4日（金）15：30～15：45  		

■みんなで考える！これからの「こどもとはたらく」ワークショップ・セミナー

内 容	「働く子育て世代のリアル」を参加者同士で共有し、「より良くするアイデア」を共に考え、学び合う、全3回目のワークショップやセミナーを開催。参加者各々が自分にあった働き方を意識することや、子育てに関する不安の解消、各種支援制度の利用を促すキッカケづくりを行った。

テーマ	第1回：これからの「子育てしながら働くを考える」ワークショップ 第2回：これからの「パパ育休」を考える、社会保険セミナー 第3回：家族・職場に活かせる「ボードゲームでコミュニケーション」ワークショップ		
協力	オトナリラボ		
実施日	第1回： 8月28日（土） 第2回： 9月25日（土） 第3回：10月30日（土）	参加者	第1回： 9名 第2回： 2名 第3回：11名

■KOIN 塾

内 容	社会の流れやこれからの時代に大切なことをシェアしながら、自分らしい生き方・働き方や、自分のやりたいことを深掘りしていく学びの場として、全 7 回のイベントを開催。イベント終了後には講師や参加者同士で交流する時間を設け、対話を通じてコミュニティづくりも後押しした。 		
テーマ	第 1 回：コロナ禍で加速したパラダイムシフト 第 2 回：ダイアログ※ 第 3 回：在り方が問われる時代の到来 第 4 回：ダイアログ※ 第 5 回：自分と人と地域の未来 第 6 回：ダイアログ※ 第 7 回：「これからの自分」を一緒に考える ※偶数回は、前回のテーマで対話を中心とした内容で実施		
協力	一般社団法人 my turn		
実施日	9 月～3 月の第 3 水曜日（全 7 回）	参加者	60名（累計）

■コワーキング施設連携事業

内　容	京都で活動するコワーキング施設やシェアオフィスと連携し、各施設の魅力を発信するとともに、新しい働き方を考える機会を提供
テーマ	①コロナ禍の今、“場”の役割を問い直す vol.1 「コミュニティマネージャーが考える ＃仕事場のその先 」 ②コロナ禍の今、“場”の役割を問い直す Vol.2 「＃仕事場のその先にあるコワーキングの可能性」 ③コロナ禍の今、“場”の役割を問い直す vol.3 「はたして ＃仕事場のその先 はあるのか？ないのか？」
協　力	株式会社ツナグム
実施日	①10月4日 ②12月13日 ③3月18日
参加者	①42名 ②31名 ③14名

■×（クロス）▽（バリュー）タ活事業

内　容	仕事終わりの夕活事業として、気軽に参加交流できるセミナー等を実施
テーマ	①イノベーション連続講座 「イノベーション、オープン・イノベーションってなんだろう」 ②イノベーション連続講座 「イノベーティブなアイデア発想法」 ③イノベーション連続講座 「SDGs でイノベーションを生む方法」 ④「バックキャストとイノベーション」 ⑤プロの仕事家と人気エッセイ漫画家による仕事も家庭も大事にするための 「失敗図鑑」- 失敗を乗り越えた先の Happy な生き方とは -
協　力	①～④立命館大学大学院テクノロジーマネジメント学科 品川 啓介 氏 ⑤クロネコキューブ代表取締役 岡田 充弘 氏 フリーランス作家 カワグチ マサミ 氏

実施日	①11月12日 ②11月19日 ③11月29日 ④12月3日 ⑤3月1日
参加者	①22名 ②24名 ③24名 ④22名 ⑤36名

■館内交流事業「ＫＯＩＮ Ｇａｔｈｅｒｉｎｇ Ｃａｆé」

内 容	京都経済センター内の経済団体間の交流を目的に、無料でコーヒー等を提供して様々なことを語り合う機会を創出した。 		
協 力	京都珈琲学部		
実施日	11月29日	参加者	60名

■京都知恵産業創造の森フォーラム（全部署との連携）

内 容	創立3年の節目を迎えるにあたり、知恵森の事業報告に加え、これからも京都経済の発展に資する「知恵森（KOIN）」である為に、どのような知恵の物語をつなげていくと良いかについて語らい、探求する場を提供。知恵森（KOIN）でどのようなサポートが受けられるか等、実際に支援を受けられた企業の視点でお話いただくと共に、伴走支援した知恵森職員が登壇しトークセッションを実施。次年度に向けた新たな知恵森（KOIN）利用者層の確保に努めた。 		
テーマ	第1部 伴走支援の事例紹介（各部より登壇者選定×4社） 第2部 伴走者とのトークセッション（2セッション）		
実施日	3月3日（木）	参加者	154名 （ハイブリット）

■立命館大学大学院テクノロジーマネジメント学科　プラクティカム（実践型演習）の受け入れ

内　容	立命館大学大学院テクノロジーマネジメント学科の院生4名を受け入れ、京都遅延産業創造の森におけるアントレプレナーシップ醸成の課題の抽出と解決策の提案をいただいた。
テーマ	京都におけるアントレプレナーシップの創出にむけた斬新な取組の提案
協　力	立命館大学大学院テクノロジーマネジメント学科
実施日	9月～1月

②　起業やスタートアップの発掘・育成と事業展開に向けた支援の取組の実施

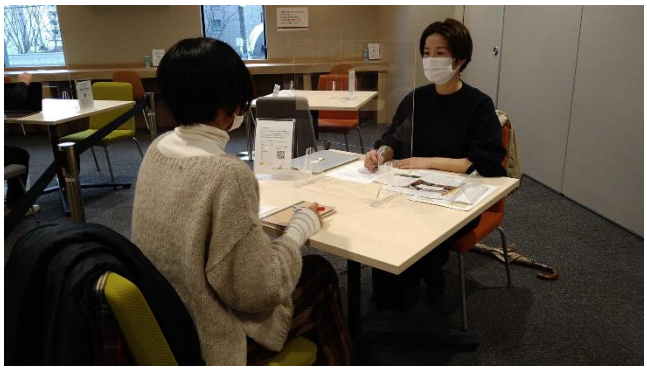
■U35 起業家育成プロジェクト事業

内　容	35歳以下の若年者を対象に起業に対する心理的ハードルを下げ、起業に向けた機運を醸成するとともに、起業を志す者同士のネットワークを形成
テーマ	①アイデアを形にする「起業の仕方」・「プロジェクトの立上げ方」を学ぶ 90 分 ②社内起業で夢の実現！ 　-社会にも自分にも持続可能な「ソーシャルビジネス」の作り方を学ぶ 90 分- ③自分らしく仕事を進める 若き実践者に聞く！ 　- 起業・フリーランス・復業の 「はじめ方」と「進め方」- ④SNS フォロワー1 万人越えのタップダンス金メダリストから学ぶ 　「応援されるプロジェクトの作り方」 ⑤どんな時でもチャンスを生み出す、起業と事業のための思考と行動の方程式！ ⑥安心してチャレンジできるための「かかるお金」の基本を学ぶトークセミナー
協　力	株式会社MIYACO
実施日	①7 月5日　②9月27 日　③11 月29日　④2月1日　⑤3月22日　⑥3 月28日
参加者	①55名　②22名　③10名　④17 名　⑤22名　⑥18名

■ビジネス実践ラボ

<table>
<tr><td>内 容</td><td>起業を志す学生を対象に、ビジネスプランの作成から事業実践まで一気通貫で起業体験ができるプログラムを実施。事業の実践を通して起業のノウハウを体験することで、起業に向けた第一歩を後押しする機会提供を目指すビジネス体験プログラム。
書類やプレゼンにより5組の優秀なビジネスプランを選出。選出プランに対して最大50万円の実践費用を提供し、職員、中小企業診断士・税理士による伴走支援のもと、実際の事業活動を体験する。</td></tr>
<tr><td>対 象</td><td>京都府内の大学・大学院・専門学校に通う学生</td></tr>
<tr><td>アドバイザー</td><td>石井 規雄 氏（中小企業診断士）／田中 慎 氏（中小企業診断士・税理士）</td></tr>
<tr><td>プログラム</td><td>(1)応募期間　6月21日(月)～7月26日(金)
(2)応募説明会　7月1日(木)18:00～19:00
(3)ビジネス基礎講座・プランブラッシュ支援
①8月 5日(木)18:00～19:15
②8月26日(木)18:00～19:15
(4)プレゼン審査会　10月 5日(火)18:00～20:30
(5)認定証交付式・採択者説明会
10月22日(金)18:00～19:00
(6)実践進捗報告会 ①11月16日(火)18:00～19:30
②12月16日(木)　〃
③ 1月18日(火)　〃
④ 2月14日(月)　〃
(7)実践最終報告会　3月14日(月)18:00～19:30</td></tr>
<tr><td>認定プラン</td><td>
<table>
<tr><th>氏名</th><th>学校名</th><th>プラン名</th><th>交付金額</th></tr>
<tr><td>山内 瑠華</td><td>立命館大学</td><td>へんてこりんおやさいえのぐPJ
―SDGs社会に則した余剰野菜の新たな活用法―</td><td>500,000円</td></tr>
<tr><td>林 聖悟
淺霧 一真
静木 銀蔵</td><td>京都大学
大学院</td><td>京大ボドゲ製作所」第一弾制作【株トレ】
―コロナ禍における新しい家庭の過ごし方の提案―</td><td>500,000円</td></tr>
<tr><td>吹上 崚央
森分 一生</td><td>京都府立大学</td><td>古着×アートショップ arch</td><td>300,000円</td></tr>
<tr><td>髙木 惇平
伊藤 陽向</td><td>京都大学</td><td>日々の気になるを統計で見える化するサービス Graphshow</td><td>300,000円</td></tr>
<tr><td>浜中 啓樹
清水 真奈</td><td>京都大学
京都芸術大学</td><td>ONE PROTEIN
1杯から飲めるプロテインカフェ</td><td>300,000円</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

■女性コンシェルジュによる相談窓口

内　容	「自身がもつアイデアをどのように実現していけば良いかわからない」、「同じ思いをもつ仲間を探したい」、「仕事と子育てに関して相談したい」、「自分らしい生き方・働き方について相談したい」など、どんなことでも気軽に相談できる窓口として、毎月第 2 水曜日に開設。経営やコミュニティマネージャー等の経験が豊富な女性コンシェルジュが相談対応を行う。 		
協力	一般社団法人 my turn		
実施日	9 月～3 月の第 2 水曜日（全 8 回※） ※9 月のみ第 1 水曜日も開設	利用者	36名（累計）

■立命館大学大学院品川教授による創業・経営 Labo（イノベーションに係る相談窓口）

内　容	イノベーションやイノベーティブな発想方法に係るよろず相談窓口		
協　力	品川　啓介　氏（立命館大学大学院テクノロジーマネジメント学科　教授）		
実施日	11 月 8 日、11 月 12 日、11 月 15 日、 11月19日 11 月 22 日、11 月 26日、 11 月 29 日、12 月 3 日	利用者	8名

■ビジネスモデルの構築と、人に伝わるプレゼン資料の作り方

内　容	起業を目指す学生や若年層のビジネスプラン構築、プレゼンスキル向上を目的に、最初期におけるビジネスモデルの構築や、人に伝わりやすい資料の作り方、押さえるべきポイントなどを学ぶセミナーを開催した。		
実施日	12 月 4 日（土）	参加者	7名

■学生ベンチャーミートアップ（スタートアップ推進部・産学公連携推進部との連携）

内　容	京阪神の大学との連携によるピッチ会、起業に成功した学生、これから起業を目指す学生、産業支援機関等の交流		
協　力	株式会社 MAKUAKE		
実施日	2月10日	参加者	259名

■KOIN マルシェ in 大垣書店

内　容	知恵森（KOIN）が支援している、または関係・協力団体が応援している創業間もない方（概ね創業3年以内）・起業を志す学生などが開発した商品やサービスを展示販売できるチャレンジショップの場を提供。第2回目の開催となり、支援企業を対象に、大垣書店京都本店の催事スペースにて、6日間限定（2部構成）で開催。 異業種の出店者通しの交流に加え、各部3日間を通じて多様な顧客との出会いにより自店の強み・弱みを再確認出来る学びの場となった。
募集期間	11月上旬～12月17日
実施日時	第 1 部：3 月11日～13日 第 2 部：3月18日～20日　（最終報告会 3 月25日）
場　所	大垣書店本店　イベントスペース「催」（京都経済センター1階）
出店者	17 社（第1部：9社・第2部：8社）

③ SNS や掲示板等を活用した情報発信の強化

KOIN 利用者の紹介記事を SNS で発信する企画「今日の KOIN さん」を実施し、複数回にわたり投稿した。また、ビジネス実践ラボやアクセラレータープログラム参加者の活躍情報や事業紹介を SNS に投稿し、KOIN を舞台に活躍する若手人材の取組を発信した。

さらに、KOIN 利用者に向けて、今一度 KOIN の魅力を認識いただくべく、厳選したイベントアーカイブ記事を定期的に配信するメルマガ「KOIN NEWS LETTER」を3回にわたり発刊した。

④ ネットワークを活用した起業支援の充実

■アクセラレータープログラム（第1期）

内　容	メンターによるサポート、ビジネスプラン作成支援、産業支援機関への引継ぎ		
募集期間	6月下旬～7月 30 日	採択件数	12 件（応募 12件） ※うち、1件リタイア
スケジュール	8月3日　　オリエンテーション（その後、本法人とリリースにより採択者を選考、通知） 8月～11月　メンタリング実施 1月　プログラムを通して磨き上げたアイデアをHPに掲載		

採択アイデア

氏　名	アイデア	氏名	アイデア
弓井　茉那	ベイビーシアターキット開発事業	宮田　智子	10年目のプロポーズしませんか？　～バウリニューアルを日本の文化にしたい！～
小原亜紗子	まちの人が本当に欲しい機能を不動産領域から形にするお手伝い	渕野健	アメリカ大学受験コンサル ※学業優先のためリタイア
白木聖子	京都からはじめる猫殺処分ゼロ	西森　寛	みんなのオンライン道場～自らマスター（師匠）となって、自分の道場を開こう！～
Helmi	コロナ前の海外写真を使って、旅行気分になれる写真集を作りたい	山本光裕	First Peace Texture Kyoto ～平和の質感を私の内側から～
小島怜	美味しい農ある暮らし	林菜摘	仕事も子育てもあきらめない！働く女性の伴走支援
中村敏康	過去・現在・未来の時間軸にフォーカスした音声メッセージサービス	吉田　哲朗	スポーツの安心・安全について学ぶツール

■アクセラレータープログラム（第2期）

<table>
<tr><td>内　容</td><td colspan="3">メンターによるサポート、ビジネスプラン作成支援、産業支援機関への引継ぎ</td></tr>
<tr><td>募集期間</td><td>11月初旬～12月7日</td><td>採択件数</td><td>10件（応募 15件）</td></tr>
<tr><td>スケジュール</td><td colspan="3">12月10日　オリエンテーション（その後、本法人とリリースにより採択者を選考、通知）
12月～2月　メンタリング実施
3月　プログラムを通して磨き上げたアイデアをHPに掲載</td></tr>
<tr><td>採択アイデア</td><td colspan="3">
<table>
<tr><th>氏　名</th><th>アイデア</th><th>氏名</th><th>アイデア</th></tr>
<tr><td>鹿沼美穂</td><td>グラスに注ぐビールと楽しさ</td><td>渡邊高行</td><td>IT の力で京都の課題を解決</td></tr>
<tr><td>類家麻希子</td><td>個々のニーズにあった洋服づくり</td><td>結城　貴志</td><td>森里川海ダイアログ</td></tr>
<tr><td>吉田光志</td><td>ミドルトランジションを後押しするアート活動プログラムの提供</td><td>伊藤佳世</td><td>新店舗事業　The kitchen「クッキングジム」を作る　施設を作る事業（店舗）</td></tr>
<tr><td>近藤　隆</td><td>捨てない経済を創る</td><td>工藤友紀</td><td>オンライン秘書</td></tr>
<tr><td>須崎啓人</td><td>京都の諸地域の魅力を、体験し、発掘し、伝えるイベント</td><td>有澤淳子</td><td>看取りのその先へ　～　看取った後の方を支援したい</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

⑵ **京都産業及び京都企業の魅力発信**

大垣書店との連携によるスタートアップマルシェを企画・実施した（※(7)②KOIN マルシェ in 大垣書店）。

KOIN の WEB サイト、SNS、メールマガジン等を活用し、積極的に情報発信を行った。（※(7)③SNS や掲示板等を活用した情報発信の強化）

5 スマート社会の実現に関する事業

⑴ スマート産業関連の生産性向上

① スマートファクトリー推進事業(京都の未来を拓く次世代産業人材活躍プロジェクト)

内 容	専門コーディネータを中心に、IoT や AI の導入等によりイノベーションや生産性向上等を図る中小企業等に対して、事業者視点に立った丁寧な支援を行うことにより、スマートエネルギー、スマートファクトリー関連産業の発展、雇用の創出を図った。
実 績	雇用創出 50 名(うち良質雇用 39 名) (2021年度目標: 雇用創出 37 名、うち良質雇用 32 名)

② スマート社会実装化促進事業

内 容	「スマート社会」の実現を目指すため、新たなサービスや技術の開発等のイノベーションの構築に向けた取組を行う京都企業等を対象に経費の一部を補助した。また、専門コーディネータによる採択事業者(過年度を含む)に対するフォローアップを継続実施した。
実 績	・スマート社会実装化促進事業補助金(4件 14,000 千円)

③ スマート産業人材育成支援事業

内 容	エコ・エネルギー分野やスマートファクトリー分野など新たな価値を創出し、生産性向上や良質な雇用創出につなげることのできる人材等を育成するためのセミナー・研修会等を開催した。
実 績	・セミナー等開催:8回 参加者:(延べ)331名

内 容	日 程	参加者数
■スマート産業人材育成支援事業(AI/IoT 分野)セミナー、フォーラム、案件相談会		
① オンラインセミナー「デジタル変革(DX)実現のためのAI／IoT利活用～京都の中小企業におけるAI／IoT利活用事例の紹介～」	令和 3 年 6 月 15 日	57 名 (オンライン)
② オンラインセミナー「デジタル変革(DX)実現のためのAI／IoT利活用～先端技術の紹介とDX推進の取り組み方～」	令和 3年 8月 4日	62名 (オンライン)
③ 生産性向上のためのICTソリューションセミナー&案件相談会「～中小企業様で利活用できるソリューションを紹介します～」 ＜共同開催(主は京都産業 21)＞	令和 3年 9月 1日	31名 (オンライン)
④ AI 利活用 体験ワークショップ「～AI 推進者として、ベンダーとの折衝能力を高める～」 ＜共同開催(主は京都産業 21)＞	令和 3年 12 月10日	15名
⑤ オンラインセミナー「デジタル変革(DX)実現のためのICT利活用～先端技術の紹介とバックオフィス生産性 向上事例紹介～」	令和 4年 1月 19 日	53名 (オンライン)
■スマート産業人材育成支援事業(生産性向上分野)セミナー		
① スマートファクトリー導入実践セミナー「スマートファクトリーのねらいと実践事例の紹介」	令和 3年 8月27日	31名 (オンライン)
■スマートインフラ関連セミナー等		

	① 再生可能エネルギー普及セミナー「浮体式洋上風力発電、バイオガス発電事業のポイント」	令和　3年10月22日	59名（オンライン）
	② セミナー「水インフラ産業関連市場の最新動向～成長分野への展開～」	令和　3年12月１日	23 名
	・出前講座：4回、参加者133名		

④ 京都スマートプロダクト認定事業

内 容	京都府内の中小企業等が、自社製品等として製造の全部又は一部を行っている、エコ・省エネの取組や、AI・IoT 等を活用したスマートシティの推進に資する製品・サービスを「京都スマートプロダクト」として認定し、情報発信や販路開拓等を支援した。
実 績	・認定：9件（エコ関係 3 件、スマート関係 9 件（重複 3 件）） ・「京都スマートシティエキスポ 2021」「京都環境フェスティバル 2021」「中信ビジネスフェア2021」等で PR を実施

製品・サービス名	企業名
① 空気清浄機＋オゾン発生器　カムフォールド	株式会社エアピュア
② セルラー通信式浸水検知センサ（KAMEKER3）	亀岡電子株式会社
③ 高抗酸化値・低硝酸健康野菜	株式会社 恵葉＆菜　健康野菜
④ 産業用蓄電システム＜BLP＞	CONNEXX SYSTEMS 株式会社
⑤ TEDOM 社製コジェネレーションユニット	株式会社シーエープラント
⑥ 1 飛沫可視化サービス 2 飛沫吸引パネルと深紫外線によるウイルス殺菌装置（AIRVIO）	株式会社 テックレボリューション
⑦ スマートデバイスを活用した製造業向け遠隔支援ソリューション「MARS」「MARS lite」	株式会社ハイシンク創研
⑧ 自販機型京土産販売機「wacocoro（ワココロ）」	株式会社扶桑プレシジョン
⑨圃場見守りシステム SESAME-AGRI	株式会社みどり工学研究所

⑵ 中小企業等のスマート化、省エネ・節電支援

① スマートファクトリー促進支援事業

内 容	府内中小事業者の製造現場におけるイノベーションを推進するため、エネルギー消費・生産計画等の「見える化」による改善や生産性向上を目的とした「スマートファクトリー」の導入等を支援した。
実 績	・スマートファクトリー促進支援事業補助金（9 件　15,165 千円）

② 中小企業等への省エネ・節電・EMS診断事業

内 容	事業所や工場に専門家を無料で派遣し、設備の運転状況の確認、データの計測・分析を行い、生産性の向上に資する総合的な改善方策を提案した。また、診断事業及び補助事業の対象となった中小企業等へのフォローアップ、PDCAサイクルに即した支援を実施した。
実 績	・中小企業等への省エネ・節電・EMS診断事業 （詳細診断 20 件、フォローアップ事業 10 件、簡易診断2件）

③ 自立型再生可能エネルギー設備等導入補助事業

内 容	中小企業等が条例に基づく計画認定を受け、自己消費のため導入する再生可能エネルギー設備及び効率的利用設備（EMS、蓄電池）に要する経費の一部を補助することで、再生可能エネルギー、EMS及び蓄電池の導入を促進した。
実 績	・自立的地域活用型再生可能エネルギー設備等導入補助事業補助金 （9件　25,157千円）

④ 中小企業等の省エネ・節電対策への支援

内 容	中小企業等が行う省エネ設備改修に要する経費の一部補助・委託事業を通じて、省エネ・節電による温室効果ガス排出量の削減及びクレジット創出を支援した。
実 績	・京－VER創出促進事業補助金（11 件　25,294 千円） ・京都市中小事業者省エネモデル普及拡大事業（3 件　3,741千円）

⑶ スマート産業に関わるネットワークの形成

京都エコ・エネ交流クラブ会員やエコ・エネルギー関連及びスマートファクトリー関連事業者とのネットワークの形成を推進した。

また、「京都産業EMS導入促進連絡会議」を運営するとともに、令和 2 年度に京都府内の中小企業等支援機関との情報共有・連携を強化するため新たに立ち上げた「京都スマート社会推進連携会議」の第2回会議を開催した。

＜京都産業EMS導入促進連絡会議の運営＞

日 程	出席団体	議　題
令和3年8月19日	京都府、京都市 （府市とも商工・環境部門両方） 京都知恵産業創造の森	・令和3年度 EMS関連補助事業に係る申請・採択状況について ・今後の京都産業EMS推進本部の活動について 等

令和3年12月21日	同上	同上

＜京都スマート社会推進連携会議＞

日 程	出席団体	議　題
令和4年2月 21 日	京都府、京都市（府市とも商工・環境部門両方） 京都商工会議所、京都府商工会連合会、京都工業会、 京都府中小企業団体中央会、京都産業21、 京都高度技術研究所、関西文化学術研究都市推進機構、 京都府テレワーク推進センター（※）、 京都府産業廃棄物3R 支援センター（※）、 経済産業省近畿経済産業局、 環境省近畿地方環境事務所（※） ※は令和 3 年度から新たに参画された団体	・本会議の趣旨・目的説明 ・各機関の取組内容の共有 ・各機関との連携の可能性検討　等

6 産学公連携の推進に関する事業

⑴ 産学公連携によるオープンイノベーションの推進

① 産学公連携セミナー、コーディネータ交流会等

■産学公連携セミナー

テーマ/講演者	KRPフェス 2021 「下水から新型コロナウィルスがわかる」～産学連携による持続可能な社会に向けて～ 新型コロナウイルス感染症モニタリングへの下水疫学調査の展開 京都大学 名誉教授 田中宏明氏 下水処理場での新型コロナウイルス調査:成果と課題 京都大学大学院工学研究科 特定助教 井原 賢氏 個別施設への下水疫学の適用で感染者を早期発見－産学連携で生まれた「京都モデル」 ㈱島津テクノリサーチ 環境事業部 副事業部長 兼 分析研究センター長 八十島 誠氏
目的	京大と島津製作所の産学連携により生まれた下水疫学の適用による感染者の早期発見「京都モデル」をオンラインの特性をいかし，全国の下水行政関係者等に紹介し，展開支援することを狙いとした。
実施日	令和 3 年7月 21 日
参加者	297 名

■リエゾン交流会

テーマ/講演者	・「知と汗と涙の近大流コミュニケーション戦略」 近畿大学 経営戦略本部長 世耕石弘 氏 世界初のクロマグロ完全養殖をはじめとして、SNSで拡散したくなるようなクリエイティブな案件を投入。これまでの実例を中心に、近大流の産学連携について広報担当者の目から見た分析などを交えて講演。 ・「産学連携と契約」 京都アカデミア法律事務所 岡本哲也 氏 産学連携の契約に詳しい岡本弁護士から、企業と大学との利益対立が起こりやすい場面や契約を交わす際のポイントを解説。 ・「ダイキン工業の産学連携と企業からみた大学との共同研究の推進」 ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター 主任技師 配川知之 氏 ・その他:コーディネーター、URA体験談 公財)京都高度技術研究所(ASTEM) 小野寺由美子 氏 京都府立医大 木村健一 氏

	龍谷大学　田村光夫　氏
実施日	令和３年 10 月８日、令和3年11月５日
参加者	57 名

② オープンイノベーション推進に向けたマッチングイベント
「関西有力企業が求める技術・事業ニーズ説明会」

テーマ/講演者

登壇企業・登壇者	タイトル
㈱ワコールホールディングス 未来事業推進室　猪熊敏博氏 山野翔太氏、越部周氏	「ワコールが「フェムケア」と「アート」の事業領域に挑戦！協力者を募集」
㈱島津製作所　基盤技術研究所 新事業開発室　後藤洋臣氏	「社会に貢献できる科学技術、待ってます。」
大阪ガス㈱ イノベーション推進部 樋口裕思氏	「大阪ガスのニーズとシーズ」

目　的	関西有力企業3社（(㈱ワコールホールディングス、㈱島津製作所、大阪ガス㈱）が各社の事業・技術ニーズを京都知恵産業創造の森参画大学等に限定して公開していただき、シーズ等を持つ大学等との個別面談等に繋げることにより、産学連携・オープンイノベーションの推進を支援する。
実施日	令和３年 10 月 27 日
参加者	48名（京都産学公連携プラットフォーム会議参画大学等のコーディネータ，URA 等）

③ 産学公連携実践事例調査

【概要】

農林水産業分野における産学連携調査研究事業（市場ニーズ解決型フィージビリティスタディ）を実施

【目的】

市場（企業）からのニーズや課題を幅広い異分野の領域の研究者とディスカッションすることで、企業の現状の打破に向けた課題解決、商品・アイデアの発掘に繋げる。また、それらのアイデアの具体化を行い、大学研究者とともにその実現可能性をテストする。成功事例だけでなく、活動を通じてのトライアルアンドエラーについてもレポートを行う。

【手法】

テーマをもとに、市場（企業等）に対するヒアリング・リサーチを繰り返し行いニーズを収集し、そのニーズの解決提案のための大学研究者へのヒアリングと企業等へのフィードバックを繰り返すことにより、新たに派生したニーズ・シーズ両方を掘り起こして幅広く収集する。

【成果】

この調査をきっかけとして、タキイ種苗×京都女子大学（出前授業などのコンテンツ等）、タキイ種

苗×京都精華大学(商品パッケージ)の開発が進められている。
また、丹山酒造×京都府立大学(商品開発)、農家(しんやさい京都)×立命館大学(廃棄野菜を活用した商品開発)についても研究開発に向けて打ち合わせを進めている。

④ 産学公連携窓口

京都府内企業の産学連携ニーズに対応するための相談窓口を引き続き設置し、企業と大学の橋渡しを行った。

・相談件数…13 件 ・橋渡し件数…13 件(うち共同研究契約締結5件 秘密保持契約締結2件)、競争的資金獲得…2件(③1,000 千円④10,000 千円)

相談内容	相談元	橋渡し先
① 人の温度錯覚現象を利用した低消費電力の冷暖房システムの実現	計測機器メーカー	龍谷大学
② 京都発！古代甘味料「甘葛」の復元と社会普及	立命館大学	京都府立大学 ワイン製造企業
③ 計測機器の工業デザインの一新及び学術知を活かしたインターフェースの制作	計測機器メーカー	京都工芸繊維大学
④ パームヤシ環境問題解決のためのオイルパーム幹の有効利用方法の開発	京都府立大学	府内メーカー群
⑤ 自然環境由来薬剤耐性菌を対象とした簡易検出法の構築	京都橘大学	バイオ企業
⑥ 地域活性化を目的としたプロダクトの制作	福知山公立大学	府内メーカー
⑦ ビックデータを活用した進学指導プログラムの制作	京都大学	学習塾経営
⑧ ミラーセラピーにおける脳の錯覚を利用したリハビリ効果の検証の実証実験	京都橘大学	訪問リハ企業
⑨ UX視点からの化粧品容器のデザイン検討	容器メーカー	京都女子大学
⑩ 児童自立支援施設の新たな指導方法プログラムの開発	京都先端科学大学	クリニック等
⑪ ハンドメイドネクタイの優位性の証明	府内メーカー	京都工芸繊維大学
⑫ 若者がデザインする日本酒の新たな付加価値の実証研究	酒造会社	京都工芸繊維大学
⑬ データサイエンス(AI)を活用した効果的な環境分析について	市内環境計測企業	福知山公立大学

⑤ 産学連携共同研究開発事業

コーディネータが産学連携のチーム組成に関する提案を行い、産学公連携案件の組成を行った。大学の研究成果・知見等を生かした課題解決等を積極的に支援している。なお、オンライン成果報告会を令和4年 3 月 4 日に実施し、成果の共有を図った。

■事業一覧＜令和3年度産学連携開発研究事業一覧(一般枠)＞

事業内容	大学等
ウェアラブル冷温感デバイスの開発	龍谷大学 先端理工学部 助教 橋口 哲志 氏

若者がデザインする日本酒の新たな付加価値の実証研究	京都工芸繊維大学情報工学・人間科学系　教授　桑原教彰　氏
ワンヘルスから見る自然環境の中の薬剤耐性菌分離調査	京都橘大学　健康科学部 准教授　中村竜也　氏
古代日本が愛した幻の味「甘葛」復活	立命館大学　グローバル・イノベーション研究機構 助教　神松幸弘　氏
大学・民間・施設の協働による児童自立支援施設の新たな指導方法プログラムの開発	京都先端科学大学人文学部 講　師　光井朱美　氏

⑵ 地域連携への支援

① 地域連携支援事業

地域社会における様々な社会課題解決に向けて，大学の知見や学生の柔軟で斬新なアイデア・発想力等を活かした取組を支援することで，これらの課題解決に結びつけると共に新たな価値創造につなげることを目的とし，公募のうえ事業採択を行った。なお、オンライン成果報告会を 3 月 4 日に実施し、成果の共有を図った。

■事業一覧＜令和3年度地域連携支援事業一覧＞

事業内容	大学等
京都産国産小麦「京小麦」を使用したセカンドハウスとの共同商品開発プロジェクト	京都ノートルダム女子大学
KASANEO～想い出衣服を通じた多世代交流～	京都文教大学
防災・観光分野における IT を活用した地域活性化の試み	舞鶴工業高等専門学校
芸術大学とのコラボレーションから地域を活性化させる ～カフェ、アニメーションスタジオとの協働による事例研究～	京都芸術大学
東洋医学の知恵を活かす地域価値創生プロジェクト	明治国際医療大学

② 産学連携 PBL 事業

京都府内企業の地域連携ニーズに対応するための大学からの相談窓口を引き続き設置し、企業と大学の橋渡しを行った。

・相談件数…7件　　・商品開発件数…8件

相談内容	相談元	橋渡し先
① 町内のおしゃれカフェの一体的プロモーション	京都光華女子大学	京丹波町

② いままでにない新商品の開発	京都光華女子大学	抹茶･漬物企業
③ 京小麦の普及を目指した新メニューの開発	京都ノートルダム女子大学	パスタ･ケーキ製造販売業
④ 下請け中心の板金加工を芸術の力で新たなニーズの掘り起こし。	京都美術工芸大学	板金加工業
⑤ 東洋紡と開発したポリエステル素材の折り紙の用途開発	京都美術工芸大学	繊維製造業
⑥ あぶらとり紙の欧米への認知度向上や製品の新価値創造を行う	龍谷大学	御土産物製造業
⑦ 新規開業ホテルに常設のデジタルアートの投影	京都精華大学	大手ホテル業

⑶ 経済団体との連携による情報交換、情報発信

① 産学公連携プラットフォーム会議

内 容	産学公連携推進部事業の報告等を行うとともに、参画団体間相互の情報交換や交流を促した。
開催日	第１回（令和3年5月21日） 第２回（令和4年3月25日）
参加者数	①68 名、②33名
講演	第１回終了後、下記の「大学発オンライン講座」を実施 【講師】花園大学文学部教授 佐々木閑 氏 【演題】科学と仏教 【参加者数】79 名

② 学生ベンチャーミートアップ京都（産業人材育成推進部、スタートアップ推進部と連携）

内 容	学生時代に起業経験を持つスタートアップ経営者に全国から集まってもらい、体験談を起業を目指す学生と共有した。また、クラウドファンディングの担当者と資金調達の留意点などの意見交換も行った。
開催日	令和4年2月10日
出演者等	山本 愛優美 氏（Nexter） 慶應義塾大 学環境情報学部在籍 （高校2年時に起業） 小島 怜 氏（株式会社 OYAOYA） 立命館大学 文学部4年生時に起業 千葉 佳祐 氏（株式会社 nano Freaks） 九州大学 理学部化学専攻修士1年生時に起業 高橋 佑生 氏（株式会社weCAN） 東北大学 工学部4年生時に起業 ハヤカワ 五味 氏（株式会社ウツワ） 多摩美術大学 グラフィックデザイン学科2年生時に起業

	澤邊　太志　氏(株式会社 amirobo TECH) 奈良先端科学技術大学院大学　先端科学技術研究科博士後期課程1年時に起業 ゲスト:株式会社マクアケ　地方事業部長　菊地　凌輔　氏
参加者	356名

③ 産学公連携支援事業説明会

内 容	産学公連携による研究開発の推進、新規事業育成支援を目的とした国事業等について、オンラインを活用し説明会を開催。
開催日	①令和3年11月18日　②令和4年3月25日
講師	①近畿経済産業局、近畿総合通信局、近畿農政局、NEDO、JST、AMED ②京都府、京都市
参加者	①67名　②33名

④ 情報発信

メールマガジンやSNSにより、主催事業や参画団体の事業等その他産学公連携に有用かつタイムリーな情報について発信を行った。

(【令和4年3月末時点】メルマガ会員数約564人・週1回発信、SNS(Facebook)フォロワー約 380 人・随時発信)

また、ホームページ内に大学ニーズ、シーズ活用の相談窓口を設け、大学からの相談機能を強化するとともに、参画団体をはじめとするオール京都の産学連携に有用な情報をプラットフォーム化(一元化)し、発信力の強化を図っている。

⑤ 参画大学との共催・連携事業

産学連携支援事業(共催)	
京都大学工学研究科(桂図書館・学術研究支援室)	テクノサイエンスヒル桂の実　サテライト発信 ※緊急事態宣言によりサテライト会場開催は中止 ＜実施内容＞ テーマ:医工連携 日時:令和 3 年 9 月 30 日 場所:本会場/京都大学桂図書館 :サテライト会場(京都経済センター3階 KOIN) プログラム ■トークイベント ＜発表者＞京都大学工学研究科助教　平井義和　氏 京都大学工学研究科助教　中尾章人　氏 ミツフジ株式会社代表取締役社長　三寺歩　氏 株式会社 T-ICU 代表取締役　中西智之　氏 ■オープンディスカッション ■展示＆デモ

京都精華大学	・文部科学省職業実践力育成プログラム「WEB 業界で働くための講座」（10/7～12/23 の毎週木曜日）
同志社大学	・経済学部経済研究科「ALL Doshisha 産学官連携キャリア教育プログラム」（11/7 ほか） ※京都府北部エリア等を舞台として学生が事業プランを練り上げ、大企業や自治体が助言などを行う。

⑥ その他

京都ノートルダム女子大学が京都産学公連携プラットフォーム会議に新規参画し、参画団体数は 57 となった。

7 スタートアップの創出及び成長支援の推進

⑴ スタートアップ・エコシステムの充実

① スタートアップの創出に向けた支援

創業しやすい環境づくりを目指して、創業に必要な知識が得られるセミナーの定期開催、ビジネスアイデアや資金調達、海外展開などに関することを気軽に相談できる体制の整備及び起業家間のコミュニティ形成に取り組んだ。

■ Kyoto Startup Challenge セミナー

内 容	スタートアップとして創業するのに必要な知識を体系的に学ぶセミナー 次の4つのテーマを 1 クールとし、年間3クール開催 ①スタートアップやベンチャーキャピタルとは ②アイデアの見つけ方とその評価 ③創業初期における仲間の見つけ方 ④スタートアップにおけるファイナンス 対象者：京都で創業を目指す者やプレシードやシード期のスタートアップ 等 場所：KOIN 定員：20 名 その他：全テーマ受講した者には特定創業支援事業として認定
共催(協力)	株式会社 Next Edge
実施日 参加者	

	実施日	講師 VC	参加者数
第 1 クール	4 月 28 日	TLM	27 名
	5 月 21 日	Primal Capital	24 名
	6 月 18 日	East Ventures	13 名
	7 月 2 日	W Ventures	13 名
第 2 クール	8 月 27 日	Basepartners	11 名
	9 月 17 日	BondsInvestment Group	9 名
	10 月 15 日	Scrum Ventures	19 名
	11 月 5 日	デジタルベースキャピタル	12 名
第 3 クール	12 月 17 日	Headline Asia Investor	7 名
	1 月 14 日	STRIVE	11 名
	2 月 18 日	マネックスベンチャーズ	11 名
	3 月 4 日	Z Venture Capital	12 名

総延参加者数 171 名 （内 学生 45 名、社会人 126 名）
特定創業支援事業認定者数 9名

■ VC 壁打ち相談

内 容	ビジネスアイデアや資金調達などスタートアップとして創業や事業を実施する上での課題について、VC の担当者が対応 対象者：京都で創業を目指している者及びプレシード・シード期のスタートアップ

<table>
<tr><td></td><td>場所：京都経済センター会議室</td></tr>
<tr><td>共催（協力）</td><td>株式会社 Next Edge、yasu株式会社</td></tr>
<tr><td>実施日
参加者</td><td>
<table>
<tr><th>実施日</th><th>対応VC</th><th>参加者数</th></tr>
<tr><td>5/28</td><td>East Ventures、マネックスベンチャーズ</td><td>7 名</td></tr>
<tr><td>6/25</td><td>STRIVE、F Ventures</td><td>5 名</td></tr>
<tr><td>7/30</td><td>Basepartners、ANOBAKA</td><td>6 名</td></tr>
<tr><td>8/20</td><td>Primal Capital、グロービス・キャピタル・パートナーズ</td><td>6 名</td></tr>
<tr><td>9/24</td><td>TLM、East Ventures</td><td>4 名</td></tr>
<tr><td>10/29</td><td>マネックスベンチャーズ, Basepartners</td><td>7 名</td></tr>
<tr><td>11/26</td><td>STRIVE、Primal Capital</td><td>7 名</td></tr>
<tr><td>12/17</td><td>W Ventures</td><td>3 名</td></tr>
<tr><td>1/28</td><td>Scrum Ventures、ANOBAKA</td><td>2 名</td></tr>
<tr><td>2/25</td><td>Bonds Investment Group、iSGS インベストメントワークス</td><td>7 名</td></tr>
<tr><td>3/25</td><td>TLM、Basepartners</td><td>7名</td></tr>
<tr><td>合計</td><td></td><td>61名</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主な相談内容</td><td>・アイデアの見つけ方、ビジネスアイデアの妥当性
・検討中の事業に欠けている点
・サービスの価格設定の妥当性
・ユーザーへの課題ヒアリングの方法等について
・創業前の仮説を検証していく方法や重要性
・投資を受けるタイミングについて
・自社ビジネスの米国への展開について
・共同創業者に求めること
 </td></tr>
</table>

■ 弁護士、公認会計士による専門家相談

<table>
<tr><td>内 容</td><td>スタートアップ特有の課題に対し、スタートアップ支援に実績のある弁護士及び公認会計士による相談対応
対象者：京都で創業を目指している者及びプレシード・シード期のスタートアップ
場所：京都経済センター会議室</td></tr>
<tr><td>共催（協力）</td><td>弁護士：TMI法律総合事務所京都事務所　公認会計士：北條公認会計士・税理士事務所</td></tr>
<tr><td>実施日
参加者</td><td>
<table>
<tr><th colspan="2">弁護士への相談</th><th colspan="2">公認会計士への相談</th></tr>
<tr><th>相談日</th><th>相談者数</th><th>相談日</th><th>相談者数</th></tr>
<tr><td>8/5</td><td>1 名</td><td>6/21</td><td>1 名</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5"></td><td>10/21</td><td>1 名</td></tr>
<tr><td>12/3</td><td>1 名</td></tr>
<tr><td>12/13</td><td>1 名</td></tr>
<tr><td>12/20</td><td>1 名</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主な相談内容</td><td>弁護士　　：ビジネスモデルに関する直近の法改正についての確認
公認会計士：財務体制、VCや金融機関への相談方法、バリュエーションの相談、顧問税理士の選定方法、VCとの交渉時の注意点</td></tr>
</table>

■ スタートアップサポーターによる相談

内 容	KOINにおいて創業前後の悩みについて、先輩起業家や VC 経験者に気軽に相談でき、アドバイスを得られる機会を週 1 回提供
共催(協力)	株式会社 Next Edge、yasu株式会社
参加者英	

相談月	相談者数	相談月	相談者数
6 月	9名	12 月	13 名
7 月	13 名	1 月	12 名
8 月	15 名	2 月	14 名
10 月	13 名	3 月	11 名
11 月	14 名	合 計	114 名

主な相談内容

・VCとのコミュニケーション方法
・シリーズAの調達に向けてのVCの紹介
・資金調達のアドバイス
・アイデアのブラッシュアップ支援
・インターン学生の紹介
・資料作成のアドバイス 等

チャレンジする起業家
大歓迎！

■ Kyoto Innovation Base

内 容	先輩起業家が起業家を生み育てる環境を京都で実現 対象者:成長意欲がある京都府内の若手ベンチャー経営者 場所:京都経済センター会議室 内容:先輩ベンチャー経営者による若手ベンチャー経営者へのメンタリング、若手ベンチャー経営者同士のコミュニティ形成
共催(協力)	EO Kyoto、京都商工会議所、株式会社京都銀行
実施日	

実施日	講師:先輩起業家
11/18	株式会社シフト 丹下 大 代表取締役
12/16	株式会社ベイシス 吉村 公孝 代表取締役
1/27	株式会社寺田倉庫 寺田 航平 代表取締役
3/24	株式会社 PR TIMES 山口 拓己 代表取締役

参加者	14 名 固定メンバー

■ Startup Monthly Discussion

内 容	先輩起業家とのパネルディスカッションや交流を通して、創業に対するハードルを下げ、創業しやすい環境を整備 対象:京都で創業を目指す者やプレシードやシード期のスタートアップ 等 場所:KOIN 形態:オフライン及びオンラインのハイブリッド開催

<table>
<tr><td>共催(協力)</td><td>京都府、株式会社 VMK</td></tr>
<tr><td>実施日
参加者</td><td>
<table>
<tr><th>実施日</th><th>登壇者</th><th>参加者数</th></tr>
<tr><td>6/23</td><td>株式会社ローカルフラッグ　濱田　祐太　氏</td><td>20 名(600 回)</td></tr>
<tr><td>7/21</td><td>リージョナルフィッシュ株式会社　梅川　忠典　氏</td><td>25 名(354 回)</td></tr>
<tr><td>8/18</td><td>emol株式会社　千頭　沙織氏、武川　大輝　氏</td><td>10 名(555 回)</td></tr>
<tr><td>9/15</td><td>株式会社 EN ロジカル　廣瀬　哲人氏</td><td>15 名(296 回)</td></tr>
<tr><td>10/20</td><td>株式会社Casie　藤本　翔　氏</td><td>15 名(298 回)</td></tr>
<tr><td>11/17</td><td>mui Lab株式会社　廣部　延安　氏</td><td>10名(336 回)</td></tr>
<tr><td>12/22</td><td>エニシア株式会社　小東　茂夫　氏</td><td>16 名(133 回)</td></tr>
<tr><td>1/19</td><td>株式会社スクリエ　岡本　孝博　氏</td><td>12 名(210 回)</td></tr>
<tr><td>2/16</td><td>ものレボ株式会社　細井　雄太　氏</td><td>6名(151 回)</td></tr>
<tr><td>3/16</td><td>TERA Energy 株式会社　竹本　了悟　氏、
唐渓　悦子　氏</td><td>8 名(106 回)</td></tr>
<tr><td>合　計</td><td></td><td>137名(3,039 回)</td></tr>
</table>
※回数:Twitter 視聴回数

</td></tr>
</table>

② スタートアップの成長ステージに即した支援

アクセラレーションプログラム、成長ステージにおける課題解決に繋がるセミナー、資金調達や協業を目的とするピッチ等を開催した。

■ 京阪神ライフサイエンス スタートアップ向けアクセラレーションプログラム

内　容	京阪神のスタートアップ企業を対象に、ボストンのインキュベーター「Biolabs」によるアクセラレーションプラグラムを通して、海外企業との商談機会を提供し、米国への海外展開をサポート 対象:シード、アーリーのスタートアップ
共催(協力)	ジェトロ京都、大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム、ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム
参加企業	①株式会社ポワロシステム　②クオリプス株式会社　③株式会社イムノセンス　④オルバイオ株式会社　⑤株式会社オリゴジェン　⑥株式会社 幹細胞＆デバイス研究所　⑦株式会社 糖鎖工学研究所　　(①～③ 大阪企業、④～⑦ 京都企業)

■ 内閣府実施　アクセラレーションプログラムへの参画

内　容

海外アクセラレーターと提携し、2 つのコース、6 つの分野編成にて個々のスタートアップのニーズに合ったアクセラレーションプログラムを開催

コース	分野	担当アクセラレーター
Global Scale	分野は問わない	Techstars
	B2B／B2C	Alchemist Accelerator
	ヘルスケア	CIC
	クリーンテック	Techstars
	大学発SU／ディープテック	Berkeley Skydeck
Global Preparetion	分野なし	WiL / Plug&Play Japan

参加企業

コース	分野	参加企業
Global Scale	分野は問わない	Kyoto Meditation Center
	B2B／B2C	Koeeru、RUTILEA レミン、Yodayoda
	ヘルスケア	aceRNA Technologies、 マイキャン・テクノロジーズ
	クリーンテック	AC Biode、 京都フュージョニアリング
	大学発SU／ディープテック	応募なし
Global Preparetion	分野なし	レナートサイエンス、関西巻取箔工業 mui Lab、KOHII、ZORI

京都府から 14 社が参加

■ スタートアップ課題解決セミナー

内　容

ファイナンスやプロダクトマーケット、PR 戦略など、創業前後のスタートアップ経営者が抱える様々な課題について、解決に繋がるセミナーを開催

対象：創業前後のスタートアップ起業家

場所：京都経済センター会議室

共催(協力)

講師：Coral Capital

**実施日
参加者**

実施日	テーマ	参加者数
9/27	シードファイナンスについて	9 名
10/11	PMF(Product Market Fit)について	5 名
10/18	スタートアップのPR戦略及び採用戦略	7 名

■ Startup Legal セミナー スタートアップが最初につまずかないための基礎法務セミナー

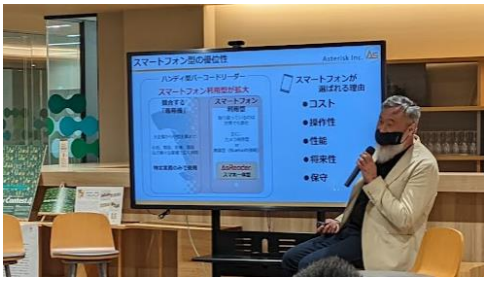
<table>
<tr><td>内 容</td><td>スタートアップが課題に抱える共通の法律問題を、最新の法律トレンドを踏まえ解説をすることで、起業家にとって最低限必要な法律の知識を身につけ事業をスムーズに行えるように支援
対象：創業前後のスタートアップ起業家
場所：KOIN</td></tr>
<tr><td>共催(協力)</td><td>講師：TMI総合法律事務所京都オフィス</td></tr>
<tr><td>実施日
参加者</td><td>
<table>
<tr><th>実施日</th><th>テーマ</th><th>参加人数</th></tr>
<tr><td>12/2</td><td>会社創業期の経営上の視点
（スタートアップとは、法人形態の
選択テーマ、資金調達、人材・労務）</td><td>2名</td></tr>
<tr><td>12/7</td><td>事業推進上の視点
（法規制、契約、知的財産、紛争対応）</td><td>5名</td></tr>
</table>

</td></tr>
</table>

■ Startup X「エンジニアから広がる Kyoto Startup Ecosystem」

内 容	スタートアップ・エコシステムにおけるエンジニアの活躍を見直すイベント 形態:オンライン開催 登壇者：京都のスタートアップでエンジニア採用を希望するスタートアップ 株式会社 Koeerü チーフデザインオフィサー(CDO) 長野 草児 氏 株式会社 HACARUS HR マネージャー 菊本 知美 氏 株式会社 KOHII CTO 太田 優成 氏
共催(協力)	RouteX 株式会社
実施日	1/26
参加者	51 名

■ IPOセミナー in 京都 2022

<table>
<tr><td>内 容</td><td>上場した先輩起業家によるパネルトーク等により、IPOやM＆Aを目指すスタートアップの意識向上を促進
場所：KOIN
形態：オフライン及びオンライン(Youtube配信)のハイブリッド開催
登壇者：株式会社アスタリスク 代表取締役社長 鈴木 規之 氏
株式会社データグリッド 岡田 侑貴 氏 、Flora 株式会社 クレシェンコ・アンナ 氏</td></tr>
<tr><td>共催(協力)</td><td>株式会社京都銀行、京都商工会議所、東京証券取引所</td></tr>
<tr><td>実施日</td><td>3/10</td></tr>
<tr><td>参加者</td><td>19 名(オンライン参加135名)
 
</td></tr>
</table>

■ 京都発 グローバル拠点都市スタートアップピッチ～AI 特集実施

内 容	AI 分野のスタートアップの魅力を東京の事業会社、VC へプレゼンテーション 形態：オンライン開催
共催（協力）	Docomo ベンチャーズ、RouteX 株式会社
実施日	4/22
ピッチ企業	Flora 株式会社、株式会社データグリッド、株式会社 Anamorphosis Networks
参加者	180 名
成 果	イベント終了後、首都圏の 4 社からお問合せ

■ 大学発ベンチャー企業 PITCH

内 容	京阪神の大学発ベンチャー企業と VC や事業会社等とのマッチングを促進し、大学発スタートアップ企業の成長を支援 形態：オフライン及びオンラインのハイブリッド開催 場所：京都経済センター産業会館ホール
共催（協力）	京都市、ASTEM、株式会社産学連携研究所（AIR）、京都銀行、大阪イノベーションハブ
実施日	11/25
ピッチ企業	京阪神のライフサイエンス、バイオ、フード・アグリ分野の大学発ベンチャー企業　全13社 HiLung 株式会社、マイキャン・テクノロジーズ株式会社、クアドリティクス株式会社、 リードファーマ株式会社、G-SHARK、株式会社オーシャンアイズ、株式会社オリゴジェン、 株式会社マトリクソーム、株式会社ソフトマターシミュレーション、株式会社糖鎖工学研究所 トレジェムバイオファーマ株式会社、株式会社恵葉＆菜　健康野菜、 株式会社ユニバーサル・バイオサンプリング
参加者	75 名（オンライン参加 85 名）
成 果	イベント終了後、17件のマッチング希望

■ 共創イノベーション「SDGs × DX」in けいはんな Presented by KSAC

内 容	関西の大学の研究のシーズと事業会社、経営人材等とのマッチング 形態：オンライン開催
共催（協力）	京都府、奈良先端科学技術大学院大学、関西文化学術研究都市推進機構、国際電気通信基礎技術研究所（ATR）、株式会社京都銀行、京都大学イノベーションキャピタル株式会社、大阪イノベーションハブ
実施日	1/24
発表研究テーマ	発表研究テーマ ・人を超える超小型触感センサの開発と産業応用 ・レントゲン画像と三次元医用画像の 2D-3D 位置合わせによる骨の動きの高精度解析 ・xR 技術を応用した文化遺産コンテンツ開発と新しい博物館アーカイブの提案 ・心地よいコミュニケーションパートナーロボット ・テーブルの全周から観察できる裸眼 3D ディスプレイ技術 fVisiOn」 ・人の手を触感する再現ロボットハンドによる空間的・社会的結合の強化

	・光学液晶の製品化と応用製品の開発 ・自然にまなぶ超撥水アルミニウム表面加工 ・認知症に対する治療用ワクチン開発 ・BLE を用いた街の混雑度センシング技術、および市民参加型による持続可能な技術運用プラットフォーム ・有用タンパク質の高生産を実現させる塩基配列の設計 ・高次脳機能障害者のための日常行動に基づくリハビリテーションと認知機能評価に関する研究 ・新市場創成に資する科学的イノベーションの起点の早期発見システム構築 参加大学: 立命館大学 2 名、奈良先端 5 名、京都大学 1 名、兵庫県立大学 1 名、大阪工業大学 1 名、同志社大学 1 名、京都橘大学 1 名、京都工芸繊維大学 1 名
参加者	最大同時視聴者数 135 人、再生回数 713 回
成 果	イベント終了後、22 件のマッチング希望

■ スタートアップ・アライアンス・リンク

内 容	京都のスタートアップと首都圏の中心とする事業会社との協業を促進 形態:オンライン開催
共催(協力)	京都府、イシン株式会社
実施日	①2/17 メディカル＆ヘルステック ②3/10 エネルギー＆クリーンテック
ピッチ企業	①メディカル＆ヘルステック 9 社 オルバイオ、COGNANO、マイキャンテクノロジーズ、HiLung、Xeno-Interface Famileaf、エモル、コーポレーションワークス、クアドリティクス ②エネルギー＆クリーンテック 9 社 AC Biode、京都フュージョニアリング、WIND シミュレーション、フォロフライ、 Connexx SYSTEMS、モノトーンテクノロジー、TSK、ディーピーエス、Curelabo
参加者	①118 名 ②139名
成 果	①マッチング件数 105 件(ピッチ参加企業 27 社から 82 件、登壇スタートアップから 23 件要望) ②マッチング件数 145 件(ピッチ参加企業 43 社から 120 件、登壇スタートアップから 25 件要望)

③ スタートアップに関する情報を発信

様々な媒体を活用し、京都のスタートアップ及びエコシステムの魅力を国内外に発信した。

■ 経済誌「Forbes」と連携したPR

Forbesとのタイアップにより、首都圏の事業会社や投資家等へのPRを実施

スポンサーセッションへの登壇、WEB記事への掲載及び Forbes 冊子誌面への記事掲載

Forbes JAPAN イベント

「Rising Star Award」トークセッション

京都がスタートアップの町として注目されるワケ

（視聴者数 約 1300 人）

Forbes 起業家特集号

■ Venture Cafe Tokyo との連携イベント

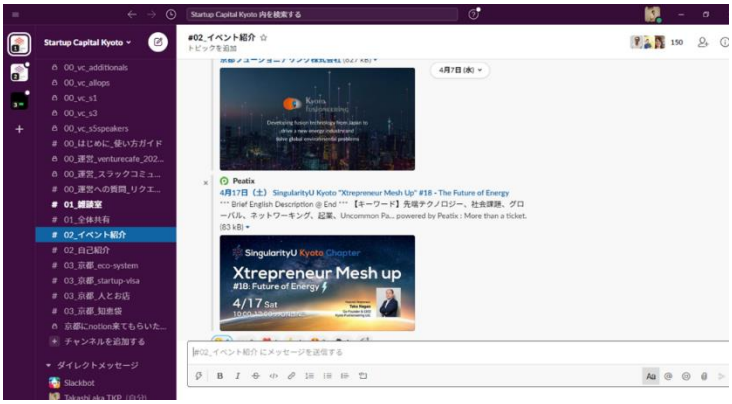
「サーズデイギャザリング Kyoto Innovation Night」の開催

内 容	京都のスタートアップ・エコシステムの状況、魅力を発信 形態：オフライン及びオンラインのハイブリッド開催 場所：CIC東京 ハイブリッド開催（日英同時通訳） ・京都のスタートアップ・エコシステムについて ・大学スタートアップのショーケース ・ソーシャルイノベーション、PoC イベント及び複業人材関連
共催（協力）	京都府、京都市、ジェトロ京都
実施日	10/7
参加者	70 名（オンライン：300 名）

■ Slack コミュニティでの情報発信

Slack を活用した、起業家やスタートアップ支援者等によるコミュニティも活性化

登録者数　約500名



■ スタートアップ・エコシステムサイトの充実

・インフルエンサー6 名の記事を掲載
・Facebook ページの立ち上げ
・「Kyoto Startup Home Base」サイトとの連携
・京都の特徴・魅力（都市特性、新たな動き、グローバル拠点都市）の頁を掲載

Facebook

■ 株式会社 PR TIMES との包括業務提携

令和 3 年11月 1 日、京都スタートアップ・エコシステム推進協議会と株式会社PR TIMESとで包括業務提携を締結

内　容	京都府内のスタートアップについて、PR TIMES が実施するプレスリリース配信サービスを6 カ月間、3 件まで無料で利用 対象スタートアップ ①京都スタートアップ・エコシステム推進協議会が設ける基準を満たし、協議会から紹介を受けた京都府内のスタートアップ企業 ②直近 1 年間で、プレスリリース配信サービス「PR TIMES」のご利用実績がないこと
利用件数	8 件

⑵ 京都スタートアップ・エコシステム推進協議会の運営

京都のスタートアップ・エコシステムの現状共有及び個別課題の協議を実施した。

■ 京都スタートアップ・エコシステム推進協議会の開催

日　程	出席団体	議　題
令和3年 8 月 23 日 オンライン実施	京都商工会議所、京都経済同友会、京都工業会、京都府商工会連合会、京都府中小企業技術センター、京都産業21、京都市産業技術研究	報告事項 令和 2 年度及び令和 3 年度の推進協議会の取組みについて

	所、京都高度技術研究所（アステム）、関西文化学術研究都市推進機構、国際電気通信基礎技術研究所（ATR）、量子科学技術研究開発機構（QST）関西光科学研究所、日本貿易振興機構（ジェトロ）京都貿易情報センター、理化学研究所、京都リサーチパーク、フューチャーベンチャーキャピタル、Monozukuri Ventures、Plug and Play Japan、フェニクシー、京都大学、奈良先端科学技術大学院大学、京都信用保証協会、京都銀行、京都中央信用金庫、京都信用金庫、三菱UFJ銀行、日本政策金融公庫、近畿経済産業局、KSII 事務局（都市活力研究所）、京都府、京都市	意見交換 他の組織や大阪・神戸と連携したスタートアップの創出・成長の支援について その他 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学が新たに推進協議会に参画

■ ワーキングの開催

日 程	出席団体	議 題
令和３年12月27日	京都商工会議所、京都産業21、京都高度技術研究所（アステム）、関西文化学術研究都市推進機構、国際電気通信基礎技術研究所（ATR）、日本貿易振興機構（ジェトロ）京都貿易情報センター、京都リサーチパーク、Monozukuri Ventures、Plug and Play Japan、京都大学、京都信用金庫、京都府、京都市	ニーズ調査やPoCなどの支援の見える化及び拡充について
令和４年１月28日		前回の議論を踏まえ、PoC 環境の充実化について
令和４年３月22日		PoC 環境の広報手段及びスタートアップ支援者の育成について

■ 京都スタートアップアンケートの実施

府内のスタートアップに対して、アンケートを実施

実施方法　郵送依頼、オンライン回答

依頼企業数　339社、回答企業　75社（回答率　23.7%）

⑶ 京阪神スタートアップ・エコシステムの連携

内閣府、経済産業省及び文部科学省の支援プログラムを活用する中で、京阪神スタートアップ・エコシステムの連携を強化した。

■ 京阪神スタートアップアカデミア・コアリション（KSAC）

内 容	文部科学省の社会還元加速プログラム（SCORE）大学推進型「拠点都市環境整備型」を活用し、京阪神の大学が連携する中で、アカデミアを起点としたエコシステムを構築し、経済界、行政機関も連携し、継続した大学発スタートアップの創出

<table>
<tr><td>参画団体</td><td>41 機関
<table>
<tr><td>主幹機関</td><td>京都大学</td></tr>
<tr><td>共同機関</td><td>大阪大学、神戸大学、大阪府立大学、大阪市立大学、兵庫県立大学、立命館大学、大阪工業大学、関西大学、近畿大学、関西学院大学、甲南大学、奈良先端科学技術大学院大学、大阪産業局、京都知恵産業創造の森</td></tr>
<tr><td>幹事自治体</td><td>大阪府、京都府、兵庫県、大阪市、京都市、神戸市</td></tr>
<tr><td>外部協力機関</td><td>長浜バイオ大学、滋賀医科大学、関西経済連合会、関西経済同友会、大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所、国際電気通信基礎技術研究所、三井住友銀行、三菱UFJ 銀行、みずほ銀行、りそな銀行、京都銀行、池田泉州銀行、みなと銀行、京都大学イノベーションキャピタル株式会社、大阪大学ベンチャーキャピタル株式会社、堺市、関西広域連合、関西文化学術研究都市推進機構</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td>①起業活動支援プログラム
事業化を目指す研究シーズへの資金助成及び専門人材によるハンズオン支援
応募件数 55 件、採択件数 26 件、採択総額 241,512 千円
②起業家教育の指導・支援人材育成
実践と理論を習得した起業家支援人材（12 名）と実践的な教育カリキュラムを運営できる人材（7 名）を育成及び起業家教育科目及びプログラムの大学間相互活用の促進
③起業環境の整備
京都大学、大阪大学、大阪工業大学、神戸大学等に、KSAC 加盟機関が利用できる3D プリンタ等の試作機器やVR機器、配信スタジオ及びコミュニティスペースを整備
④プラットフォーム内外のエコシステムの形成
</td></tr>
</table>

■ 内閣府実施アクセラレーションプログラムの報告会

内 容	令和2年度実施した内閣府のアクセラレーションプログラムに参加したスタートアップによる成果報告会を実施し、次期プログラムへの関西企業の参加申込を促進
共催（協力）	大阪スタートアップ・エコシステムコンソーシアム、ひょうご神戸スタートアップ・エコシステムコンソーシアム
実施日	令和3年7月15日
登壇企業	トレジェムバイオファーマ株式会社（京都府）、サグリ株式会社（兵庫県）、BABY JOB 株式会社（大阪府）
参加者	126 名